

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境 ・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			東京都の設置基準では、児童一人当たり4㎡になっており、当事業所の指導室は90.09㎡あり基準を満たしています。 また一部屋だけでなく、教室に入って左手に部屋を分けて相談室と事務室があります。
	② 職員配置数は適切であるか	○			基準人員2名の配置に加えた職員数を配置しています。配置している職員全員が常勤であり、有資格者となっています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口道路から教室内への導線については、段差はなくバギーや車いす等の入室も適切に行える環境となっています。 また転倒やケガの恐れがある場所については、保護テープ等を活用し、安全面へ留意しながら活動しています。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝ミーティング及び必要に応じて会議を行い、前日当日の児童、保護者に対する共有事項やその日に取り組み業務・活動の流れを話し合う時間を取っています。また前日の療育の振り返りも合わせて行ない、日々〈何が必要であるか〉を考え修正しながら業務改善に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方からのご意見等は職員間で共有し活動や業務に反映しております。また年に一度保護者の方からも事業所を評価して頂き、修正を行いながら業務改善に努めています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け評価表と事業所向け評価表の結果を集計しホームページ上で公開しています。ホームページ上で公表後、HUG（ネット上の療育支援システム）にて全体へお知らせ致します。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			月に一度、全姉妹教室を含めたミーティングを行い情報共有の場を設けています。姉妹教室とのミーティングの結果を元に再度教室内で周知を行い業務改善に努めています。
	⑧ 職員の資質の向上を行う為に研修の機会を確保しているか。	○			「虐待防止」「防災」「強度行動障害」等の外部研修に加え「療育について」の内部研修も実施し資質の向上に努めています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の様子をサービス提供毎に記録し、個別支援計画作成時に確認しています。また保護者、児童指導員、児童発達支援管理責任者、専門職を含めたモニタリングについて、概ね半年に一度もしくは児童の成長・変化の応じて個別支援計画の作成を行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			日常動作から社会性・情緒・行動面・生活面を把握できるツールを活用しています。保護者の方も今後の振り返りを行い易いように5段階での評価も取り入れており、児童の成長を詳しく分かるようにしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝のミーティングの時間や療育終了後に職員間で意見を出し合いながら、質の高い支援を展開出来るように努めています。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児童の特性に合わせて同じ活動の中でも目標を変え、一つ一つの活動を通じて児童がスモールステップで課題に挑戦し少しでも成長を感じられる様に促しています。また自分で考えた運動や静かな活動については、日々新しい内容を取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		それぞれの児童の課題を話し合った上で、療育プログラムの立案を朝のミーティングで確認しています。また療育内容がマンネリ化しないよう職員間で意見を出し合いながら療育を考えています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動と集団活動を組み合わせよう個別支援計画の作成に努め、一方向に偏らないように意見を出し合いながら作成を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝職員間でミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や、療育内容について話し合っています。その日の児童の様子に応じて臨機応変に進行し、状況に応じた対応を取れるように意識しています。また、前日の振り返り・保護者からのご相談・情報についても職員全体で共有し次の療育へ繋げています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後、振り返りや保護者からの連絡事項を共有し、改善点や新たな課題を見つけながら、翌朝のミーティングで再度情報共有を徹底しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		HUG（ネット上の療育支援システム）にて各児童の1日の様子、全体の活動日誌、実績記録表、サービス提供内容の記載を行っています。また完成した記録を職員間で確認を行い、内容の相違がないか確認を行っています。支援に関する記録を取る中でその日の支援について振り返り、指導員の対応方法などが適切であったか話し合い改善点を模索しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリング前・後ともに児童指導員、児童発達支援管理責任者、保護者や関係機関等を含め、アセスメントを取りまとめ、一人ひとりの成長に合ったサービス計画の見直しの必要性を職員全体で判断しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		定期的に児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドラインを読みなおし、日々の療育に繋げています。
	関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	
㉑		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校との情報共有に関して、保護者を通して行っておりますが、必要に応じて学校側から情報提供していただく場合もあります。事業所から学校への情報共有に関しては、保護者からお伝えいただくようお願いしています。行事予定など、月間のスケジュールが記載されているものをコピーさせていただき学校、保護者と共通認識を持って必要に応じた対応を行っています。
㉒		医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	通所受給者証をお持ちの方から相談があった際には、必要に応じて対応いたします。
㉓		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		幼稚園・保育園等とは直接的な情報共有は難しい面があるため、姉妹教室である児童発達支援事業所との連携を図り、情報共有と相互理解に努めています。

保護者との連携 関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、障害福祉サービスへ移行される利用児童はならず、今後必要に応じて情報の共有を行います。また、ほしのごグループと連携して成長段階や課題設定に応じて学年別の療育を展開しており、高学年への進級に伴い姉妹教室への促しや、これまでの支援内容等の情報提供を行っています。今後も放デイを卒業する児童への支援の在り方を見直していきます。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		児童発達支援センターや児童発達支援事業所の職員の方の見学を受け入れる体制を整えています。また、児童発達支援センター主催の研修にも積極的に参加させていただいており、職員の能力向上に繋げています。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		感染対策の為、外部機関との交流は中止させて頂いており、次年度については様々な交流を持てるように企画を行っていきます。また教室では障がい者手帳の有無、特別支援学校、支援学級、普通学級に関係なく一緒に集団で活動を行い、普段から障害特性に関わらず、お互いに過ごす環境となっています。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		区が開催しているネットワーク会議等へ積極的に参加しており、事務局員としても会議の企画運営を行っています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		保護者とお会いする場面（引き渡し時等）において、ご家庭や学校等での出来事を確認し、状況の変化を確認しています。また事業所での成長、課題をお伝えし、今後の対応を検討しています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		電話や面談等でのフィードバックの際に、個別支援計画書に基づきご家庭と事業所で共通した支援が行えるよう、親子でできる取り組みを提案しながら児童との関わり方について都度お伝えするようにしています。またグループ相談支援についても新型コロナウイルスの感染対策をした上で開催することができ、保護者に情報を提供する場を設けています。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約の際には保護者の方と契約書類の読み合わせを行っており、質問等を聞きながら進めています。また、変更があった際にも別紙を用いてお伝えをしており、契約書類等については教室内に掲示しています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		引き渡しの際や電話・HUG上で相談事・悩み事が無いか、ご自宅での様子を確認する時間をとっています。また相談室を使った面談や電話でのご相談も随時受け付けております。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会やグループ相談等の機会から保護者様同士でお互いの経験や感じていることを共有出来る機会を今後も作っていきます。また、お時間の調整が難しく、集まりへのご参加が難しい保護者の方々に关しましても、保護者会やグループ支援等の内容を共有する対応を取っていきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		申し入れがあった場合はその都度職員間で共有し、話し合った上で迅速かつ適切な対応を行っています。保護者からの申し入れがあった場合は、早急に予定を調整して相談室にて対応していきます。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		Instagram・FacebookやHUGを活用し、活動の様子を公表しています。また自己評価については、HUGの活動記録及びホームページ上で公開していきます。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		不必要に社外に情報が洩れないように電話対応やメール対応には細心の注意を行い、必ず確認を行ってから対応します。個人情報が記載されている書類については、鍵付きの書庫にて管理を徹底しています。また、ICT機器のウイルス対策についても徹底している為、契約の際に同意をいただく緊急時の医師への情報提供、他事業所との照会、事故発生時の情報提供以外の外部への流失はありません。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方々には、お子様の引き渡しの際やHUG、電話で連絡させていただいております。特段の配慮が必要な場合は出来る範囲での対応をおこなってまいります。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域住民や関係機関との交流は難しい状況が続いています。感染状況を見ながら、地域住民との交流を図る行事の開催を企画して参ります。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し、教室に保管しています。変更がある毎に更新し、職員間で周知しています。保護者からのマニュアル閲覧のご要望がありましたら、随時対応させていただきます。また、緊急時の連絡手段として、保護者の方にはマチコミの利用登録をお願いしております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練については、年に二回以上の実施が義務付けられています。教室では火災を想定した避難訓練を行っています。様子をSNSやスターキッズだよりに掲載していますので、是非お時間がある際に御覧になっていただければと思います。今後も定期的な避難訓練を予定しており、実施後は様子を報告させていただきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修だけでなく社外研修にも積極的に参加し、各自自己研鑽に努めております。また、教室内においても、研修した職員が議事録を作成し、内容を共有する時間を設ける事で支援の向上に繋げています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在やむを得ず身体拘束を必要とする児童が在籍していませんが、身体拘束にかかる説明書の内容を説明した上で同意書を頂いております。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、食物アレルギーの児童に関しては契約の際、保護者の同意を得て事業所ではおやつを提供せず持参したおやつを食べています。イベント等でおやつを提供を行う場合は、都度保護者へのアレルギーの再確認や保護者判断で召し上がっていただくように声掛けを徹底しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットについてはその都度事例を記載しています。また、月初には集計を行い、曜日・時間・ヒヤリハットの種類別に分け、＜想定・改善＞を行っています。ミーティングを行い職員間で再発防止のための対策を共有し、共通認識を持ちながら改善や支援の向上に努めています。